

取り組みを始めたきっかけ・背景

当社は地域の皆さまのご理解・ご協力のもとで事業を運営させていただいております。地域の発展は当社の発展につながるということであり、同時に当社も地域社会の一員として責務を果たす必要があることをも意味しております。そういったことから、地域を基盤とした企業として、「地域の発展に貢献します」を経営理念の一つに掲げており、さまざまな社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

特に、2001年度以降は、地域の社会的課題のうち「環境保全」「社会福祉」「教育」の3分野を中心に、地域に根ざした社員参加型の活動に積極的に取り組んでいます。

主な取り組みの内容

社会福祉活動

地域の福祉向上に少しでもお役に立てるよう、電力会社という特色を活かし、介護老人福祉施設での電気設備の点検・清掃を毎年実施しています。また、交流活動として当該施設の餅つき行事に社員が参加しています。

環境エネルギー教育活動

電気事業を通じて培ってきた技術や知識を、地域の皆さまに役立てていただくために、次世代層を対象に環境・エネルギー教育活動を行なっています。多くの子どもたちが、科学に対する興味・関心を抱き、地球環境問題・エネルギー問題への理解を深めることを目指して、学校などに出向いて、発電の仕組みや地球環境問題などについて、実験機材などを使って楽しく学んでもらっています。



原子力模型を使って

社員へのボランティア活動支援

社員が持つ能力を地域に役立てることを目的に「エネルギーボランティア人材バンク」を実施しています。この制度は、ボランティアとして活用できる個人の知識や技術・特技等を会社に登録し、ホームページやパンフレットで周知することにより、地域社会のさまざまな場面で活かすボランティア紹介制度です。

● エネルギーボランティア人材バンクのしくみ



【取り組みの成果】

こういった取り組みを継続することが、地域の皆さまの当社事業活動への理解促進につながっていくと考えています。また、社員参加型の取り組みにすることで社員同士のコミュニケーションが深まり職場の一体感の醸成につながっています。

【今後の展望】

地域社会の当社に対する期待も高いこともあり、今後とも地域の良き構成員として継続して実施していきたいと考えております。

企業の社会貢献活動のすすめ

今だから始めるフィランソロピー

社会貢献活動とは

「社会貢献」とは、社会のいろいろな問題に関心を持ち、どのような社会を望むか、そのために何をしたいか、どのような関わり方をしたいかを考えながら、利益や義務の範囲を超えて行動していくことです。

「慈善」「奉仕」の気持ちに加えて、どのような社会にしたいのかを自らが考え、より良い社会づくりに自らが参加していくことです。

ボランティア・社会貢献活動に関するお問い合わせは…

最寄りの市町村社会福祉協議会ボランティアセンター

もしくは 鳥取県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターへどうぞ。

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内

TEL 0857-59-6332 FAX 0857-59-6340

E-mail vc@tottori-wel.or.jp URL http://www.tottori-wel.or.jp



鳥取県ボラセンキャラクター「はーちゃん」

なぜ企業が社会貢献活動をするの？

地域への関心が高まる中で企業の社会貢献活動が期待され、求められており、行動に移す企業も増えてきています。それでは、なぜ企業は社会貢献活動を行うのでしょうか？その理由について幾つかの考え方を紹介します。

1 企業の社会的責任

従来、企業の社会的責任として、①良質の製品・サービスの適正価格での提供、②従業員の雇用・納税の義務、③株主への配当ということが当然の義務として求められてきましたが、90年代以降、社会貢献活動が推進されていく中で、第4の概念として④健全な社会の維持・発展という考え方が生まれました。つまり、企業も社会を構成する一員として、健全な社会の維持・発展を推進する役割を担っており、直接的な利害関係のない不特定多数の人々に対し経営資源を活用することも企業の社会的責任であるとの考え方です。

2 長期的なイメージアップ

社会貢献活動の推進により、社会や消費者から見る企業イメージが向上することにより、売上の増加、優秀な人材の確保、活動を通じたネットワークによる異業種間の協働・連携事業の開発等の効果が期待されます。また、企業活動が社会的批判を浴びるようなケースが生じた場合には、保険ともなりえるのではないかとこの考え方です。

3 社員への好影響

社会貢献活動を推進することで、本業以外の分野での社会との接点・窓口が生まれ、その結果として、社員に活力が生まれる、あるいは、ボランティア活動を通じ社員の社会性が高まり、社風の活性化につながるという考え方です。ただし、これはあくまで、社会貢献活動を推進していった結果としての副次的な効果と考えたほうがよいでしょう。

コラム 企業の社会貢献活動は地域づくりの推進力

特定非営利活動法人 賀露おやじの会
理事長 藤田 充さん

「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」には、鳥取県18団体、島根県19団体(平成19年8月末現在)が参加しており、賀露おやじの会も鳥取ブロック代表としてイベントや広報活動に参加しています。

地域の住民と企業は、共存関係を保ちながら生活してきた歴史がありました。しかし、経済の発展が企業と地域住民とを疎遠にし、更に経済の停滞により企業が撤退すると、何も残っていない地域ができてしまうという現象が起こりました。地域社会は、企業と地域住民との協働関係が保たれてはじめて発展し、持続するものと考えます。

地域で活動する団体は、その行動範囲に限界があります。また、資金力や人材にも限界があることから、団体が持つ優れた発想や行動力が活かされずに眠ってしまうことが多々見受けられます。この壁を打ち破るのが企業の社会貢献活動だと思えます。企業が行政とは異なる自由な理念で、地域に貢献することにより地域に愛される産業として発展することが期待されます。



たとえば こんな取り組みも…

それでは、実際に社会貢献活動に取り組むには、どのような活動があるのでしょうか。企業の社会貢献活動といっても、その分野や取り組み方法は企業によってさまざまです。「すごいことをしよう」というより、少しずつでも長く続けていける活動を見つけてください。地域の企業がリーダーシップをとって取り組みれば、私たちみんなが願う「安心して暮らせる住みやすいまちづくり」を進めることができます。

まちづくり・コミュニティ活動支援

- 地域の行事・お祭り等への協力
- 防犯の取り組み(子どもかけこみ110番など)
- 防災の取り組み(災害協定の締結など)

教育

- 小・中学校のゲストティーチャー
- PTA活動の参加促進

文化・芸術の保護・支援(企業メセナ)

- 演劇・音楽会等イベントの開催
- 社内ギャラリーの設置

スポーツ振興

- スポーツ大会の開催
- 少年野球・サッカー等のスポーツ支援

海外支援・国際協力

- 開発途上国への生活・教育支援活動
- フォスターペアレント(途上国児童への経済的支援)

リサイクル・収集活動

- 古切手・書き損じはがき等の収集活動
- 不要品のリサイクル活動
- フリーマーケット等の開催

NPO・ボランティア活動団体等への協力・支援

- 活動資金・機材の提供
- 活動資金の助成事業の実施
- NPOとの協働事業開発

社員へのボランティア活動支援

- ボランティア情報の提供
- ボランティア活動の場の提供
 - 地域の公園・観光地等の清掃活動
 - 町内清掃・花いっぱい運動・植林活動
 - 社会福祉施設でのボランティア活動
 - 社員へ向けた手話通訳・要約筆記講習会
 - 車椅子・アイマスク体験講座
- ボランティア休暇・休職制度の導入
- ボランティア活動資金支援制度
 - マッチングギフト制度の導入

